

## SSH関連科目における課題研究の研究班用ルーブリックテンプレート

(2017版の「8校連絡会議」で作成の案を一部修正したもの)

8校連絡会議をもとにした 評価の基準  観点\ 得点	レベルの意味	大幅に改善を要するレベル	やや改善を要するレベル	満足できるレベル	十分満足できるレベル	非常に高いレベル	
	具体的特徴	探究の手続きが分からず、進められない。	個々の探究の手続きを意識して、探究活動を行っている。	個々の探究の手続きを理解して、探究活動を行っている。	個々の探究の手続きや一連の流れを理解して探究活動を行っている。	一連の探究の手続きを理解し、省察をしながら探究活動を行っている。	
		<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	
<b>テーマ 課題の設定</b>	規準  徴候	問いを出せていない。	研究の価値を十分に理解していないが、問いは設定できている。 仮説なし	研究の価値を個人レベルで理解している。問いから仮説を設定できている。	他者に研究の価値を説明できる。見通しのある問いを設定できている。オリジナリティがある。	周囲を納得させる研究の価値を説明できる。見通しのある問いを設定できている。オリジナリティがある。	
<b>計画と方法 立案と実施</b>	規準  徴候	抽象的な計画にとどまり、実施が困難。	計画をたてているが、ただそれに従い実験している。	計画の不十分な点に気づいている。回数をこなし、計画を見直している。	目的を明確にした計画を立て、見直しをもってデザインできている。	実践から教訓を引き出し、必要な知識・技能を自ら得て、次の計画に活かせる。	2倍加重配点
<b>結果と分析 情報収集と 情報の評価</b>	規準  徴候	データの記録にとどまり、収集の段階にない。データの活用に至っていない。	集めたデータをまとめているが、過不足がある。再現性が乏しい。	実験データが妥当であることを高校生が持っている知識で合理的に解釈することができる。	実験データを先行研究や専門用語を用いて合理的に解釈している。誤差についても検討している。	データから新たな知見を生み出し、次の発展に向けての発見に繋がった。	2倍加重配点
<b>考察</b>	規準  徴候	論理的な考察ができていない。	論理的な考察が不十分である。	論理的な考察がほぼなされている。	論理的な考察が十分になされている。	論理的な考察が十分にできており、かつ創造性のある提案ができている。	3倍加重配点
<b>発表と 質疑応答</b>	規準  徴候	研究に関する事実を述べるにとどまる。	研究に関する事実を研究の流れを意識しながら伝える。	情報の取捨選択をし、概念図・グラフを用いて、論理的に伝える。	情報の取捨選択をし、適切な概念図・グラフを用いて、論理的に伝える。議論することができる。	情報の取捨選択をし、適切な概念図・グラフを用いて、論理的に伝える。議論し、研究を洗練させることができる。	2倍加重配点